

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	0407	先人顕彰推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	花巻ゆかりの先人紹介					
対象	市民、観光客					
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○共同企画展 平成27年12月5日（土）から平成28年1月31日（日）までの開催 ○先人ギャラリー展 各総合支所で開催						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 共同企画展の開催館数	館	計画		5	4	
		実績		5	4	
②		計画				
		実績				
③		計画				
		実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 郷土の歴史や文化に誇りや愛着を持っている	%	目標			67.2	
		実績		62.5	66.8	
② 共同企画展入場者数	人	目標		13,000	13,000	
		実績		4,314	3,612	
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市民が先人顕彰施設を訪れ顕彰を深め、郷土の先人の功績について理解することにより、郷土に愛着がうまれているかその状況を示すものとして設定した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市内各施設の企画展の開催時期を合わせることで、来館者へのサービスを図るもので公共関与は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	知られていない先人は多く、市民へ広く紹介する機会を設ける。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	企画展の内容について連携することにより、市民をはじめ、より多くの来館者が訪問しやすくなる。
	向上余地がない <input type="checkbox"/>	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
まだ広く知られていない先人を紹介し、顕彰する機会を設けることにより、地域の文化や歴史について市民の意識醸成を図った。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 前田佐和子 内線 418

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	0407	先人顕彰推進事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		4,027	2,406		△ 1,621
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	4,027	2,406		△ 1,621

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 22 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	--------------------

部重点施策における目標
芸術文化の振興に努めます。

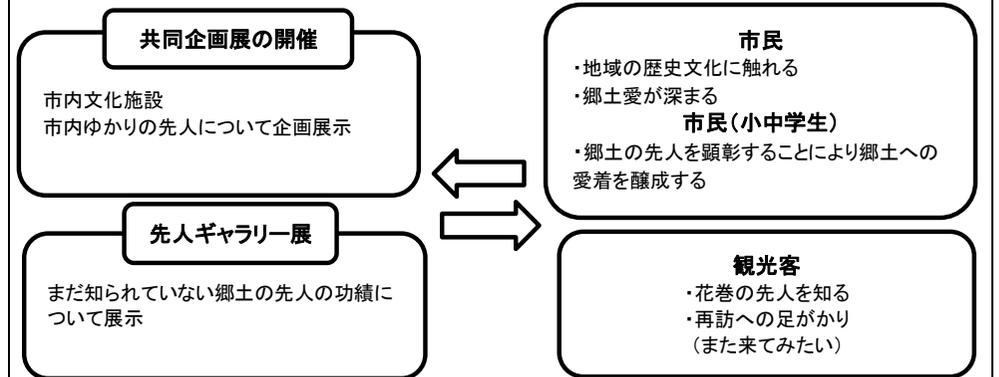
事業開始の背景・経緯
市内文化施設の利用促進を図るため平成22年度から、各施設特別展の開催期間を合わせた共同企画展を開催している。

事業概要
○共同企画展 平成27年12月5日（土）から平成28年1月31日（日）までの開催
○先人ギャラリー展 各総合支所で開催

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

市ゆかりの先人の功績をあらためて確認できたという意見や、知られていない先人に対して新たな発見がありもっと知りたいという意見があった。偉業を成しながらもまだ知られていない先人は多く、市民の要望に応えるためにこれらの先人を広く紹介する。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



①共同企画展 2,382千円

[内容] 市内先人顕彰施設による、花巻ゆかりの先人について同時期に企画展を行った。

期 間：平成27年12月5日（土）から平成28年1月31日（日）

テーマ：花巻ゆかりの先人

施設	顕彰する先人	事業費	備 考
萬鉄五郎記念美術館	藤原八弥（画家）	963	
花巻新渡戸記念館	新渡戸傳	330	
博物館	菊池黙道（画家）	26	
総合文化財センター	初代錦木塚五郎ほか	424	
宮沢賢治イーハトーブ館	—		
共通経費	—	639	スタンプラリー、チラシ等

②先人顕彰ギャラリー展 24千円

花巻の先人であり功績を残しながらも埋もれている先人を、広く市民に紹介した。各地域の総合支所を主に巡回して展示した。

期 間：平成28年2月22日（月）から平成28年3月25日（金）